

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	出雲空港管理事務所	氏名	中島 博昭
派遣先 団体名	松江市上意東公民館		

① 研修の日時

日付	AM	PM
9月22日(火・祝)	京羅木山ハイキングコース整備	竹の焼き畑農法視察(尾原ダム付近)
9月23日(水・祝)	歴史探訪ハイキング、狼煙上げ	歴史探訪ハイキング、狼煙上げ
11月19日(木)	農業祭準備	農業祭準備
11月20日(金)	農業祭準備	農業祭準備
11月22日(日)	農業祭運営	農業祭運営

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

【京羅木山ハイキングコース整備・歴史探訪ハイキング・狼煙上げ】

月山富田城の尼子氏攻略のため、毛利元就率いる毛利軍が、伯耆など周辺の城を落城させ補給路を遮断していった。京羅木山(473.0m)は、島根半島や境港(天気が良いと隠岐の島)、岡山県境の山まで見渡せ、眼下には、飯梨川を挟んで3.3km離れた月山富田城(183.8m)の兵の動きも見て取れる位置にある。京羅木山及び隣接する勝山城(毛利軍が勝ったことから勝山城。尼子氏支配時は竹山城)を毛利軍が抑え1年に及ぶ兵糧攻めにより、月山富田城は落城した。毛利氏支配になってからは、連続堅堀という手法により堀が造られ、その遺構が残っている。その様な状況を、ボランティアガイドの説明を受けながら、ハイキングを行う。(前日までに、ハイキングコース整備、資材の山頂への搬出搬入)

最後には、京羅木山頂において、初めての試みとなる、狼煙(のろし)を上げ、各所から確認できるかスタッフとの連絡確認を行った。



【竹の焼き畑農法視察(尾原ダム付近)】

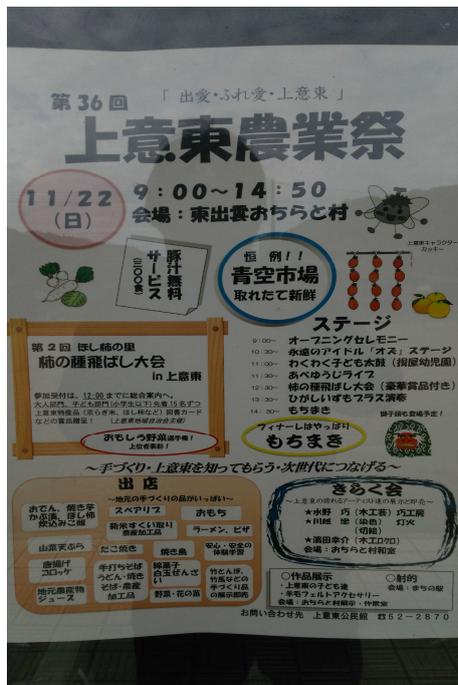
ハイキングコース整備・(当日分以外)の資材搬入が終了したので、奥出雲町の尾原ダム付近において、NPO・島根大生らが行っている、焼き畑農法で放置竹林活用の作業状況視察に、館長と出向いた。

【農業祭準備・運営】

第36回上意東農業祭は、地元自治会、子ども会、消防団などが野菜や餅、天ぷらなどを出店するほか、幼稚園児の子ども太鼓、地元ブラスバンドの演奏などのステージイベント、上意東地区は干し柿が有名なことから、柿の種飛ばし大会が開催される。

このイベントで利用する、資材(テント・机・椅子)等を、近隣の公民館、小学校、福祉施設から借用し、会場へ搬入。

当日は、ステージイベントの資材入れ替えや、狼煙上げの準備、会場の片付けを行った。



③ 研修の感想

【京羅木山ハイキングコース整備・歴史探訪ハイキング・狼煙上げ】

準備は50代以上の方々に、重たい荷物抱え225段の急な階段を運ぶのは大変。
(研修者は、10リットルタンク等を両手に持ち、3往復…(大汗))

新たなモノを作るのではなく、そこにあるモノを利用し、地元公民館、NPO法人、有志の会が協力しながら、イベントを企画し継続している。

狼煙上げは、今回が初めての試みとのことだった。当日の天気は良かったが、風が強く白煙は西へと流され、背景の白い雲重なり遠方からは確認できなかった模様。今後は尼子十旗ゆかりの地を結ぶ、狼煙リレーの構想もあるとのこと。



【竹の焼き畑農法視察(尾原ダム付近)】

放置竹林を、島根大生約30人が6月から8月上旬の週末に竹の伐採を行い、9月中旬から火入れ。竹の炭で覆われるまで焼いたところで、カブの種をまいていた。



【農業祭準備・運営】

島根大学生10名がサークル活動として、ボランティアで運営の手伝いに参加。毎年、サークルで参加しているとのことでした。

年間で色々なイベントを開催されているところですが、農業祭がメインイベントとのこと。

出店の野菜などは、午前中ではほぼ完売するほどの盛況ぶりでした。以前はもっと多くの野菜なども出していたが、減ってきているとのことでした。(研修者もお昼休みに、野菜や天ぷらを購入させていただきました。)





【感想】

今回、上意東公民館が年間を通して行っている中で、2つのイベントのお手伝いをさせていただきました。私の地元の隣接地区での活動ですが、今まで、来場者としての参加もしたことがありませんでした。今回、上意東公民館での活動に参加させていただき、新しいモノを作るのではなく、地元にある資源を見つけ、活用して、地域コミュニティを創意工夫されながら、飲みニケーションも行い、盛り上げようという、地元の方々の人の輪が出来ているように感じました。

私も、生まれ育った地元にこのような資源があったことを、改めて感じさせていただきました。しかし、活動を行う方々は、私の同級生の親御さん達世代が行っており、若い世代は地元から離れ(研修者もそのうちの一人ですが…)、高齢化、人口減少している中で、活動を行っている上意東公民館も町内近隣公民館との統合話も出ている状況です。

研修に参加させていただき、地域での人と人とのつながり方を考えさせられ、自分自身も今後において、地域活動への関わり合い等を考えていこうと感じました。

最後に、森廣館長、大森主事をはじめ、上意東地区のみなさんに、研修を通じて大変お世話になりましたことを、この場をお借りしお礼申し上げます。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成28年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。

焼き畑農法で 放置竹林活用

パン、パン。火の熱で竹のはじける音が、山里に響く。奥出雲町にある牧場の一角。里山の斜面で竹を焼くのは、島根大学の学生や地元の町づくりグループだ。増え続ける放置竹林を旧来の焼き畑農法で生かす試みが始まった。

NPO・島根大生ら試み



きっかけは、地元のNPO法人「さへらおろち」が昨年開いた竹の学習会「奥出雲竹取りの会」。事務局長の面代真樹さん(49)は、竹炭や工芸品などの用途例を調べるうちに、竹林を焼いて畑として利用する焼き畑に行き当たった。

3年肥料いらず省力化に一役

焼き畑が盛んなインドネシアやタイを訪ね歩いてきた小池教授。「一度焼けば、3年は肥料や農薬いらず。農作業の手間も省け、日本の人手不足の中山間地域に向いている。県内でも試せればと考えていた」。小池教授が教える学生も交えて相談し、実践への道が開けた。

初火入れは9月16日。約千本の竹が伐採され、山の斜面の敷力所に集められた。小池教授の指示で、周りの山に飛び火しないよう順々に点火。予定する耕作地約10アールの3分の1を、竹の灰で覆われるまで焼いたところで、カブの種をまいた。

「一日おまわりさん」安全運転を呼びかけ
新米配り、松江の園児
「秋の全国交通安全運動」最終日の30日、松江市八雲町で、「一日おまわりさん」に任命された幼稚園児が、ドライバーに安全運転を呼びかけた。

「画聖」ゆかりの地集る

雪舟サミット あさって益田

画聖・雪舟ゆかりの6自治体が雪舟を通じたまちづくりを進める第15回雪舟サミットが3日、益田市有明町の県芸術文化センター・グラントワで開かれる。

元就への祝い膳 レプリカに

益田家の「初献」22皿40品目



益田市の市民団体「益田『中世の食』再現プロジェクト」(右田隆代表)が、古文書を元に再現した当時の料理のレプリカを作った。3日の雪舟サミットで披露する。

その一人、3年生の中村孔紀さん(20)は「これで卒論を書くつもり。昔の農法で放置竹林という現代の問題を解決

「少年男子」ダブルスカル決勝
【少年男子】ダブルスカル決勝
【少年男子】ダブルスカル決勝
【少年男子】ダブルスカル決勝

島根

野津めのう店
本社 松江市殿町四〇七
(〇八五)二二一四七九九

松江総局
松江南町32
0852(23)3330
fax (27)2308
mail:matsue@asahi.com